



<開発目標>

研究項目	開発最終目標
(1) 触媒反応技術の開発 (大阪公立大学、東京大学、京都大学、東北大学)	
① 機能固体触媒の開発	① 60hでPCD収率≧90% (50~100 ml規模)
② 触媒反応メカニズム解析	② 反応機構解明
③ 反応速度・反応器モデルに基づく反応器設計	③ 反応器モデルの構築
④ CO ₂ とジオールからのPCD合成プロセスの設計とLCA	④ LCAの観点からの低GHG合成プロセス設計の枠組み構築
(2) CO₂導入技術と反応形式・プロセスの検討 (日本製鉄(株))	
① CO ₂ 導入技術・反応形式の検討	① 96hでPCD収率≧90%(200~1,000 ml規模)
② 全体プロセスの検討	② 全体プロセスフローの改良ベンチ装置の仕様確立
(3) 生成物評価及び事業性の検討 (UBE(株))	
① 生成物の評価	① 生成PCD性能の実用性評価
② 事業性の検討	② 事業化に向けた技術的・コスト的課題の整理、実用的プロセス構築可否の検討

<開発項目・研究内容>

研究機関	2023年度	2024年度
大阪公立大学	(1) 触媒反応技術の開発 (a) 機能固体触媒の開発	塩基性を制御した金属酸化物触媒の開発 酸・還元性を制御した金属酸化物触媒の開発 開発触媒の触媒解析
	(b) 触媒反応メカニズム解析及びナノパル特性評価	触媒反応メカニズム解析 活性サイト解明
	(c) 反応速度・反応器モデルに基づく反応器設計	詳細反応速度モデルの開発
	(d) CO ₂ とジオールからのPCD合成プロセスの設計とLCA	溶媒量削減検討 重合反応のシミュレーション
京都大学	(1) 触媒反応技術の開発 (a) 機能固体触媒の開発	ポリカーボネートジオール一段合成反応器設計
	(2) CO ₂ 導入技術と反応形式・プロセスの検討	CO ₂ 導入技術・反応形式の検討 全体プロセスの検討
東北大学	(1) 触媒反応技術の開発 (a) 機能固体触媒の開発	バイオマス由来ジオール製造法の調査
	(3) 生成物評価及び事業性の検討	生成物の評価 事業性の検討

